

Q 70代女性。夫婦共に高齢になり、自宅の庭の手入れが大変です。良い方法はありますか？

A 庭の手入れは道具を用いたり、植物の品種を選ぶ等、工夫次第で楽にすることができます。
雑草抜きと枝切り…雑草除去には、立ったまま使える「ホー」という農具をぜひお試しください。芝生は高密度で雑草が生えにくく、成長が緩やかな省管理型の品種もあります。脚立に乗る必要がある木の枝切りは、業者などに任せるのが正解です。木を新しく植える場合、枝が細くて切りやすく、虫が付きにくい低木（ブルーベリー、ジュンベリー、ムラサキシキブ等）をお勧めします。
花…球根類（ユリ、スイセン、原種系のチューリップ等）、宿根草（ミヤコワスレ、フジバカマ、エキナセア等）は、休眠期に枯れた地上部を片付けて

◆草刈りに便利なホーの一種「三角ホー」
刃の側面で雑草を地表から削り取り、尖った先端で根を刈り取る

◆ブルーベリーやムラサキシキブ等は
実がなり紅葉も楽しめる

手入れしやすいだけでなく、季節感を感じさせてくれる

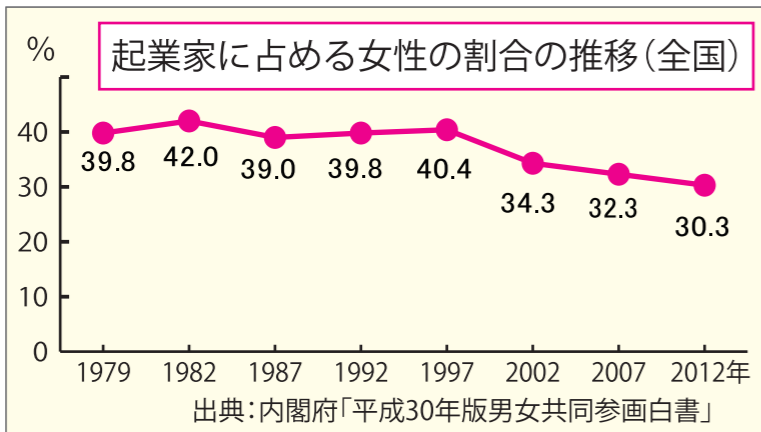
◆古い土はどうしたらいい？
鉢の土は、腐葉土・堆肥を含む再生剤を混ぜれば繰り返し使用可能



回答者：志水淳子さん
湖北台の自宅庭で花苗と寄せ植えの専門店「庭びより」を営む。市内外の個人宅・店舗敷地への植え込みを多数請け負う他、庭木・花に関する相談にも対応。ハンギングバスケットやコンテナ園芸を活動分野とする（一社）日本ハンギングバスケット協会認定のハンギングバスケットマスター。2016年の「春の南大沢ハンギングバスケット展」最高賞等、受賞歴多数。

グラフで見るキーワード
女性活躍の鍵「起業」という働き方

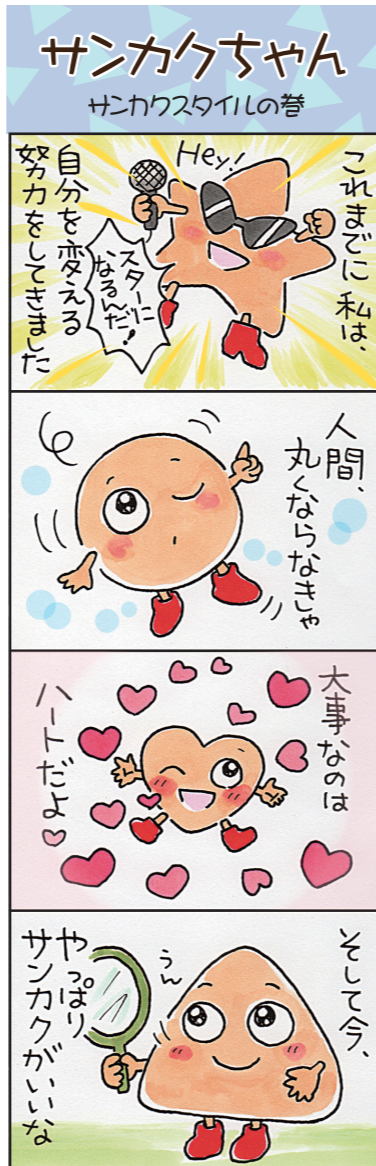
起業家に占める女性の割合は近年全国的に低下傾向です(下のグラフ参照)。国は「第4次男女共同参画基本計画」において、女性比率30%台の維持を目標の一つに掲げています。また政府は「女性活躍加速のための重点方針2018」において、「女性の起業に対する支援の強化」をうたいました。この中で、起業は「多様で柔軟な働き方」であり「男女いずれにとっても有効な選択肢の一つ」と示されています。



市はさまざまな創業支援メニューを用意しています。これを活用し起業した人は2014年度から2017年度までの4年間で31人、そのうち6人が女性です(19.4%)。今回特集の伊藤さんと吉田さんもこの支援メニューを使って起業しました。

今年度は、メニューの一つ「実践創業塾」修了生の中から、すでに4人の女性起業家が誕生しており、女性比率が高まってくるのが期待されます。また10月には初の「女性起業支援フォーラム」を開催。吉田さんと伊藤さんが先輩起業家として登壇します。

我孫子市女性起業支援フォーラム
日時：10月27日(土) 14:00~16:30
場所：アピスタホール
問い合わせ：我孫子市企業立地推進課
TEL:04-7185-2214



ご意見、ご感想、取り上げてほしいテーマなどありましたら、お気軽に男女共同参画室までお寄せください。

我孫子市男女共同参画情報紙「かがやく」通巻35号 平成30年9月発行
◆発行：我孫子市 総務部 秘書広報課 男女共同参画室 〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地
TEL 04-7185-1752 (直) FAX 04-7185-1520
◆制作：有限会社マエダ印刷 〒270-1121 我孫子市中峠 1515 TEL 04-7188-2428
◆イラスト：櫻井麻紀子 地球環境保護のため再生紙を使用しています

かがやく



働き方
自分スタイル

—我孫子で起業した女性たちに聞く—



我孫子市は千葉県で唯一の
男女共同参画宣言都市です

P4

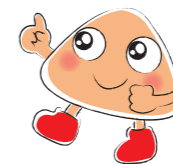
連載：その道のプロにきく File No.11 工夫次第で手入れしやすい庭に
グラフで見るキーワード：女性活躍の鍵「起業」という働き方

特集

働き方 自分スタイル

柔軟で多様な働き方の一つとして「起業」が注目されています。趣味や特技、職務経験を生かしたり、仕事と家事や子育て、介護を両立させたりすることが比較的実現しやすい働き方です。国は起業への女性の進出をもっと高めようと、女性活躍推進の柱に掲げ、地域における女性ニーズに応じた起業支援を呼びかけています。市内で「自分スタイル」を実現して活躍中の女性起業家お2人に話を伺いました。

—我孫子で起業した女性たちに聞く—



踊りたい! 続けられることを仕事に

モダンバレエスタジオ経営

伊藤 千恵 さん

何度転んでも大丈夫! 勇気を持って始めよう

美容サロン経営/起業コンサルタント

吉田 佑季子 さん

伊藤さんの自分スタイル

バレエは3歳から習い始め、趣味として続けていました。転機が訪れたのは大学時代にモダンダンスの歴史に触れた時。自分の中に眠っていた「踊りたい!」という強烈な感覚が目覚めたような感じがしました。

結婚・出産でバレエから離れた時期もありましたが子どもが2歳の時、当時住んでいた流山でカルチャーセンターのバレエ講師として復帰。そのうち生まれ育った街・我孫子でバレエを広めたいとの思いが強くなりました。JR我孫子駅前にバレエスタジオを開いたのは2016年。「踊りたい!」を仕事にできて、とても幸せです。



吉田さんの自分スタイル

私は就職経験がなくずっと専業主婦でした。第1子を20歳で、3年後に第2子を出産しました。30歳で大病を患い、女性は精神的・経済的に弱い立場になりやすいことに気づきました。「女性も自立して働かなければ」と強く思ったのはその時です。

そこで、もともと好きだったマッサージを勉強して自宅サロンを開業しました。場所は実家があり、保育園の待機児童ゼロの我孫子市です。軌道に乗るまではマーケティングの本を100冊読破し猛勉強。その経験から、女性が学び、自立する場を作りたいとコンサルタント業に業務を広げ、現在に至っています。

伊藤さんの「プライベートは仕事の支え」

子どもが小さかったので起業する時は悩みました。その時、空手教室を開いている夫が「道場を移転するので、場所を共同で使おう」と背中を押してくれました。不動産を共有するので契約もスムーズでした。我孫子は子育て環境が良く助かります。近くに住む両親も応援してくれています。職住近接で仕事を続けながら子どもたちとの時間もしっかり確保できています。

「我孫子市創業支援補助金」もスタート時に役立ちました。

吉田さんの「プライベートは仕事の支え」

悩んでいた時に助けてくれたのは4歳上の兄。広告代理店の勤務経験もある実業家で、「この本を読むといいよ」とタイミングよく助言をくれ、今も頼れる存在です。両親や地元の友人の協力にも感謝しています。でもなんといっても子どもたちが一番の心の支え。子どもたちがいるから頑張ろうと思える。高校生の息子が私の仕事や生き方を肯定的に見てくれていることがとてもうれしいです。

市の中小企業資金融資制度を活用し、起業しました。

これから働く女性たちへ 伊藤さんからのメッセージ

女性にとって結婚や出産は、仕事をする上で大きな壁と考えがち。でも私にはプラスになることがとても多かったです。あらゆる経験が無駄になりません。回り道と思っても人生は長いのです。家族がいるからこそ頑張れるし、助け合うこともできました。一番大切なのは「自分を大切にすること」。自分が心身ともに健康だからこそ、家族も幸せになれるのだと思います。



▲スタジオで子どもたちの指導にあたる伊藤さん

これから働く女性たちへ 吉田さんからのメッセージ

知識も経験もなかった私でも起業できました。その原動力は、理想とする自分になるための「勇気と自信」です。勇気には「転ぶ勇気」も入っています。私は何度も転びましたが、大丈夫でした! 仕事を続ける時大切だと思うことは、今後の人生をどう使うかという「時間のマネジメント」です。私の場合は病気をしてから「人生の残りの時間」を意識し、常に前に進むために行動していこうと考えています。



▲起業する人へ向けたセミナーで講演する吉田さん